

市有財産の有効活用に向けたサウンディング型市場調査について (結果概要)

豊田市内における未利用となっている市有財産について、将来に向けたまちづくりを推進するため、民間事業者等の利活用に係る提案をヒアリングするサウンディング型市場調査を実施しました。

本調査の結果を取りまとめましたので、その概要を公表します。

※なお、今回の調査は、事業内容や事業者を選定するものではありません。

1. 調査概要

令和6年8月9日から同年11月29日まで、3施設13事業者に対しサウンディング調査を実施しました。

2. 調査対象施設と主な提案・意見の概要

①旧郷土資料館（陣中町1丁目21番1及び23番16） 参加事業者数：4者

○事業提案の内容

落ち着いたある良好な周辺環境であることから、中高層共同住宅や高齢者向け住宅、日用品の提供を行う小型商業用店舗のほか、周辺の公共施設を一体的に活用した公民連携による交流拠点の提案がありました。

②旧近代の産業とくらし発見館（喜多町4丁目45番） 参加事業者数：6者

○事業提案の内容

建物の歴史的経緯により、市民団体の活動施設や教育施設のほか、起業・創業支援施設の提案がありました。

③旧五ヶ丘浄化センター（五ヶ丘2丁目1番1） 参加事業者数：3者

○事業提案の内容

高齢化に伴い福祉需要が高まっていることから、高齢者向けの福祉施設や、クリエイション的要素を有した商業用店舗の提案がありました。

3. 今後のスケジュールについて

参加いただいた提案を参考にし、今後の利活用について更に検討を深めてまいります。